

違いを認め合い一致点で協力 安倍内閣倒す「本気の共闘」を 市民・4野党が東京で新春街頭大宣伝

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は7日、新宿駅西口で新春街頭大宣伝をおこない、日本共産党の志位和夫委員長、民進党の安住淳代表代行、自由党の青木愛副代表、社民党の福島瑞穂副党首がそろって訴えました。

「市民連合」を代表してあいさつした山口二郎法政大学教授は、「国民の命と生活を大事にする政治を取りもどそう」とよびかけました。

志位委員長は、「違いを認め合い、尊重し合い、多様性をもって安倍政権を打ち破ろう」と訴えました。



市立幼稚園3園の統合と新幼稚園の建設は？

12月定例会市議会で大東議員は、榛名幼稚園、利南幼稚園、利南東幼稚園の統合と新幼稚園の建設について、教育長に質問しました。

教育長は、「榛名幼稚園、利南幼稚園、利南東幼稚園の3園を統合する。旧利南中学校跡地に新たな幼稚園を設置するという『沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会』の答申に基づき、現在『沼田市公共施設等総合管理計画』にむけた検討をすすめ、関係部局と協議しながら方針を決定したい」と答えました。



保育料の見直しについては、「各園における一時預かり、統合園における通園バスの導入などについて、財政状況等も勘案しながら研究したい」と答えました。

新成人560人が輝かしい未来にむかってスタート

沼田市の成人式は8日、利根沼田文化会館で開かれ、490人（男性266人、女性224人）が出席し、輝かしい未来に向かって、新たなスタートを祝いました。

沼田市で今年、新成人をむかえたのは、男性317人、女性269人の586人で、昨年の新成人より56人増えました。

成人式では、「沼田の歌」を合唱し、実行委員会が作った、映像が上映されました。



地域の安全・安心を守る決意あらたに 消防団出初式

沼田市消防団出初式が8日、沼田小学校屋内運動場で式典が開かれ、470人の団員と八職工防火協力会が参加しました。



参加者は、自然災害や火災から市民と地域の安心・安全を守る決意をあらたにしました。

式典後には、パレードがおこなわれました。

2017年1月15日

NO. 510

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



高額の療養費の引き上げや75歳以上の医療保険料の軽減縮小は、来年度以降も段階的に実施される予定になっており、相次ぐ高齢者の負担増は、「貧困と格差」をさらに広げるだけです。

高額の療養費の自己負担に上限を設ける「高額療養費制度」は、8月から70歳以上の1400万人の上限額が上がり、年収370万円未満の場合、外来の上限額が月額2千円上がります。入院を含む上限も1万3200円増の5万7600円になります。

75歳以上の後期高齢者医療では、4月から低所得世帯に対する保険料の軽減措置が縮小され、所得に応じて支払う所得割は5割軽減から2割に縮小され、元会社員の扶養家族などの定額部分も9割から7割に減らされます。

こんにちは 大東のぶゆき です

続ぶらい散歩 めまた道 川田地区あれこれ 特別編その一

勝軍地蔵と厨子

平成7年（1995）に西倉内町から下川田町に移築された雨宝殿は、9代藩主の土岐頼功が勝軍地蔵（写真左）を祀るため、文政11年（1828）に建立しました。

勝軍地蔵は、家康が戦で窮地に陥った時、霧の中から若者が現れ家康を救いましたが、戦のあと若者はいなくなり、小さな地蔵がありました。

家康はその地蔵を土岐定政に預け、定政は戦でその地蔵を常に背負い、武功をあげたことからこの地蔵は、土岐氏の守り本尊となったと伝えられています。



厨子（写真左）は、本尊の愛宕尊を安置するために寛政元年（1789）に建立されました。

高さは、241㍍あり、この厨子と勝軍地蔵は市の重要文化財にしています。

雨宝殿の正面には、12代藩主の土岐頼知（よりおき）が奉納した「雨宝殿」の額があります。

